

令和7年度 地理総合 シラバス

科目	地理総合	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	2 年次

目標 地理的な見方・考え方を働かせ、多様な異文化への理解や、様々な地球的課題に立ち向かうために必要な知識・技能を身につける。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、地球環境、資源・エネルギー、人口、食糧など現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、異文化理解や日本の豊かな自然を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に現代の地球的諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	定期考査、授業プリントやレポート課題、実技演習などで総合的に評価する。	定期考査、授業プリント、レポート課題、授業中の発言等で総合的に評価する。	定期考査、授業プリントやレポート課題、自己評価等で、総合的に判断する。

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第2部 国際理解と国際協力	授業時間中に連絡する。	『高等学校 新地理総合』(帝国書院) 『新詳高等地図』(帝国書院)
後期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題などについて新聞やニュース、インターネットを使って身近なものにしておくこと。また、地理総合の授業内容と関連づけて考えることができること。
- ・主体的に授業に参加し、疑問に思ったことをタブレット端末などを使い、調べようとする態度を持つこと。
- ・授業で提示した教科書のグラフやコラム、ノートやプリント、タブレット端末を見返すなど復習を習慣づけること。

令和7年度 歴史総合 シラバス

科目	歴史総合	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	3 年次
目標	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して近現代の歴史の変化に関わる諸事情についてまとめる技能、説明する力、文化を尊重する自覚などを向上させる。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付ける。	事象の意義や特色などを現在との関連に着目して、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想し、効果的に説明したりする力を養う。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求し、歴史や他国の文化を尊重する自覚を深める。
評価方法	定期考査、授業プリントやレポート課題、実技演習等で総合的に評価する。	定期考査、授業プリント、レポート課題、授業中の発言等で総合的に評価する。	授業プリントやレポート課題、自己評価等で、総合的に判断する。

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち	授業時間中に連絡する。	『明解 歴史総合』 (帝国書院)
後期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・主体的に授業に参加し、疑問に思ったことをタブレット端末などを使い、調べようとする態度を持つこと。